

夏休みの貴

小中学校の夏休み期間中に、中学生海外派遣事業は7月30日に出発して7泊を終えて帰町。9月12日に町民センターの方が会場に集まりました。

町民センターで行われた出発式(7月30日)。左から三好弘晃君(早来中3年)、五十嵐涼君(同)、北野可奈子さん(早来中2年)、菅原瑞代さん(同)、高橋小雪さん(同)、折田侑希穂さん(同)



オーストラリアに向けて

北半球の日本から南半球のオーストラリアに向けて出発した早来中学校の生徒6名。7月30日に出発し、シドニー到着は31日でした。

事前の情報とは違って現地の人によると、170年ぶりの雪の寒さに全員軽装が身にしてみましたと言います。

また北京オリンピックを間近に控えた空港では、警戒態勢がしかれ、持ち物チェックが厳しく行われていたとのこと。

家庭や学校で温かいも てなし

到着後、シドニー市内を見

学して午後から3泊4日のホームステイが開始。その期間中、カーリングフォードハイスクールを訪れ授業に参加し、スポーツや昼食を地元

の生徒たちと共に交流を深めました。髪を染めている生徒もいて、自由な雰囲気

に驚いたようでした。ホームステイ先でも温かく迎えられる、オーストラリアの家庭料理をいただき、家族ぐるみのもてなしを受けました。

大自然を体感し、

さまざまなことに挑戦

8月4日からオーストラリアでの野外活動を満喫。世界自然遺産登録のブルーマ

ウンテンや国立公園に行き、雄大な自然を体感。羊の牧場

では牧羊犬の羊を追う姿や毛刈りのようすを見学し、指導員からブーメランの投げ方やムチの鳴らし方を教わり、それぞれ挑戦しました。

海外での貴重な体験をし、8月6日に安平町に帰ってきました。

報告会に向けて

参加した生徒たちは、3回の事後研修を受け、報告書の作成などを行い報告会に臨みます。

中学生は細かく記入したレポートを見てオーストラリアでの出来事を思い出し、写真を見ながら生き生きと発表していました。

